

経営課題3 防災・防犯・安全対策

具体的取組3-1-1 地域防災活動事業

—地区防災計画作成を通じた地域防災力の向上—

| | | | |
|-------|---------|------|---------|
| 30予算額 | 4,860千円 | 元予算額 | 5,617千円 |
|-------|---------|------|---------|

| 目標 | 目標値 | 結果 |
|--|-------|-----|
| 事業実施した地域へのアンケートにおいて「住んでいる地域特性に応じた、災害時の対応」が理解できたと回答した割合 | 50%以上 | 98% |

達成

取組実績

地区防災計画作成:6地域
(区内全16地域作成済み)



令和元年度作成 地区防災計画



山王・飛田・金塚(阿倍野区)
地域防災訓練



今宮地域防災訓練

経営課題3 防災・防犯・安全対策

具体的取組3-1-2 地域防災活動事業

—地域防災の担い手の発掘・育成—

| | | | |
|-------|----------|------|----------|
| 30予算額 | 3-1-1に含む | 元予算額 | 3-1-1に含む |
|-------|----------|------|----------|

| 目標 | 目標値 | 結果 |
|--|-------|------|
| 講習会受講者のうち、「地域の防災活動に積極的に関わっていこうと思う」と答える割合 | 70%以上 | 100% |

達成

取組実績

- 地域防災リーダー、防災協力事業所合同での「防災アドバンス講習会」の開催(2回)
地域防災リーダー:15地域
防災協力事業所:18事業所
合計59名参加
- 区内全中学校にて可搬式ポンプの使用方法について講習(6校)



防災アドバンス講習会



中学校土曜授業

経営課題3 防災・防犯・安全対策

具体的取組3-2-1 防犯対策事業

30予算額

2,549千円

元予算額

2,545千円

目標

目標値

結果

平成31年(令和元年)の街頭における犯罪発生件数を減少させる

前年より減少させる

833件
(前年 950件) - 12.3%

取組実績

- 防犯カメラ設置補助 4地域 8台
- 防犯ボランティア団体への支援 16 団体
- 青色防犯パトロールカー及び自転車による巡回
- 遠足等の随行警備(付添い 26回)
- 地域安全センターとの連携
- 防犯交通安全教室の実施(小学校 15回、保育所等 4回)
- 特殊詐欺被害防止キャンペーン及び地域の防犯協力店での防犯啓発
- ひったくり防止カバー取付 19回 1,809枚
- 特殊詐欺等被害防止啓発活動 26回
- 落書き消去活動 随時



青色防犯パトロール巡回



ひったくり防止カバー取付



防犯交通安全教室



落書き消去活動 10

達成

経営課題3 防災・防犯・安全対策

具体的取組3-2-2 自転車等安全利用啓発事業

30予算額

4,688千円

元予算額

4,670千円

| 目標 | 目標値 | 結果 |
|-----------------------------|-------|-------|
| 交通ルールやマナーの意識が高まったと回答した区民の割合 | 70%以上 | 62.6% |

未達成

取組実績

- 交通安全区民大会の開催(5・9月)
- 交通安全運動期間中の啓発活動(5・9月)
- 迷惑駐車・駐輪追放キャンペーン(6・12月)
- 区内主要駅への放置自転車啓発指導員の配置
- 放置自転車合同啓発活動(岸里駅11回、天下茶屋駅9回)
- 広報紙による自転車特集(11月)



交通安全区民大会



放置自転車合同啓発活動



迷惑駐車・駐輪追放キャンペーン



広報紙による自転車特集

具体的取組3-2-2 自転車等安全利用啓発事業

課題と改善策

- 区民まつり等で行ったアンケートでは、多くの方から交通ルール・マナーに関する意識が高まったとの声をいただいているが、区民モニターアンケートの結果では、区民意識が向上したと思っている人の割合が低いため、区全体での意識向上の底上げが必要である。
- 区民全体の交通ルール・マナーの向上のためには、区民一人ひとりの意識の向上が必要であり、より区民に見える形での啓発活動を継続して実施する。

経営課題3 防災・防犯・安全対策

具体的取組3-3-1 空家等対策推進事業

30予算額

291千円

元予算額

414千円

目標

目標値

結果

特定空家等の解体や補修等による是正件数

10件以上

34件

達成

取組実績

- 特定空家等の所有者調査及び是正に向けた助言、指導を実施
- 広報紙(10月号)及びホームページでの空家の適切な維持管理等に関する啓発を実施
- 空家の管理、活用に関するセミナーの開催(11、2月)

【是正前】



【是正後】



経営課題3 防災・防犯・安全対策

自己評価のまとめ (1)

◇コミュニティ防災力の強化

地域防災の新たな担い手の発掘にむけ地域防災リーダーと防災協力事業所合同での講習会を実施し人材育成に加えて、地域と事業所の連携強化の取組みも進めることができたと考える。また、中学生への消火活動の講習や西成高校との連携など中高生に対する取組みも行うことが出来た。

地区防災計画は、今年度6地域を策定し全地域の計画を作成することができた。引き続き、防災意識・地域防災力のさらなる向上を図っていく必要がある。

◇防犯・安全対策の推進

街頭犯罪件数を減少させるためには、区民一人ひとりの防犯意識を高めることが重要であり、啓発活動を行うことで区民の防犯意識の向上に取り組んだ。街頭犯罪発生件数は、H26年には1,506件、H27年には1,174件、H28年955件、H29年には850件と順調に減少。H30年には950件と増加したが、令和元年度には833件と減少し、一定の効果があったと思われる。交通ルールの遵守とマナーアップについては、交通安全教室や交通安全区民大会での啓発活動に取り組み、区民まつり等のアンケートでは、交通ルールやマナーの意識が向上している結果となった。しかし、区民全体としての意識はまだ醸成途上であることから、区民に見えるような啓発活動等を継続的に実施していくことが必要である。

経営課題3 防災・防犯・安全対策 自己評価のまとめ (2)

◇空家等対策の推進

喫緊の課題となっている特定空家の是正に向けて、所有者調査及び、判明した所有者等に対する助言・指導を進め、目標を上回る件数の是正を行うことができ、周辺の特定空家等に不安などを感じている市民の割合も前年度と比べて減少している。引き続き、特定空家の是正を図るとともに、特定空家等の未然防止の取組みを進める必要がある。